

## (2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

### ② 第7期課題への取組と評価

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

## ② 第7期課題への取組と評価

---

**【課題1】包括的なケア体制づくり**

**【課題2】地域における施設・住まいの最適化**

**【課題3】ケアマネジメントの質の向上と給付適正化**

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

1) 【課題1】包括的なケア体制づくり

※第8期まえばしスマイルプラン 38頁を参照

複合化・高度化する高齢者の日常生活上の問題に対応できる体制づくりのため、以下のア～オを重点的に取り組みました。

ア 地域包括支援センターの強化

- 地域包括支援センター中央西の新設
- 地域包括支援センター管理者会議、4つの専門部会の開催
- 基幹型地域包括支援センターに虐待対応の担当者(保健師、社会福祉士)をブロックごとに配置

イ 在宅医療・介護連携

- 「おうちで療養相談センターまえばし」のHP開設
- 非公開型医療介護専用SNSを全ブロックで運用
- 「【前橋版】退院調整ルール」の手引き改定
- 医療と介護の連携会議
  - ✓ 歯科往診書式をチェック方式に改良
  - ✓ がん末期患者の主治医意見書の取扱いを統一
  - ✓ 自立支援型地域ケア個別会議として事例検討
- 在宅医療・救急医療連携推進ワーキング
  - ✓ 救急隊と医療スタッフ間の迅速な情報共有方法
  - ✓ 高齢者施設職員への教育・支援方法
  - ✓ 救急車適正利用

区分	第6期		第7期			
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
総合相談支援・権利擁護業務(重要事項相談対応延べ件数)						
高齢者虐待	件/年	547	603	1,288	2,161	
困難事例	件/年	443	915	733	1,036	
成年後見	件/年	36	61	125	138	
消費者被害	件/年	25	28	10	32	
包括的・継続的ケアマネジメント支援業務(情報交換会・研修会等の開催回数・延べ参加人数)						
全体研修会	回/年	1	1	1	0	
	人/年	231	247	208	0	
情報交換会	回/年	4	4	4	0	
	人/年	512	619	476	0	
地域ケア会議 (実務担当者会議)	回/年	70	61	60	44	
事例検討会 (個別ケース会議)	回/年	26	30	13	19	
介護予防ケアマネジメント業務(介護予防ケアマネジメントの給付管理件数)						
給付管理件数	件/年	14,844	25,855	25,801	24,619	
おうちで療養相談センターまえばしの相談件数						
相談件数	件/年	見込み	-	320	380	440
		実績	234	162	206	156

※介護支援専門員へのアンケートで「医療介護連携が進んでいる」との回答が7割を超えました。

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

1) 【課題1】包括的なケア体制づくり

※第8期まえばしスマイルプラン 39頁を参照

ウ 認知症ケアのための仕組みづくり

- 「認知症高齢者とその家族の早期支援の充実」
  - 「高齢者等見守りネットワーク(SOSネットワーク)の整備」
  - 「認知症カフェの設置」、「認知症サポーターの養成」
- ⇒見込みに届かない取組も一部ありましたが、  
総じてほぼ計画どおりに進められました。

区分			第6期		第7期	
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
認知症初期集中支援チーム						
支援対象事例数	件/年	見込み	-	50	50	50
		実績	32	43	39	41
SOSネットワーク						
累計事前登録者数	人	見込み	-	200	300	400
		実績	117	281	327	439
GPS端末貸出事業(徘徊高齢者位置情報提供サービス)						
累計利用者数	人	見込み	-	120	160	200
		実績	89	127	164	217
認知症地域支援推進員等設置事業						
推進員数	人	見込み	-	2	2	2
		実績	1	2	1	1
認知症ケアパス						
作成部数	部/年	見込み	-	5000	5,000	5,000
		実績	10,000	10,000	10,000	10,000
認知症カフェ						
設置数	か所	見込み	-	26	31	31
		実績	24	26	27	27
認知症サポーター						
累計登録数	人	見込み	18,000	20,500	21,500	22,500
		実績	20,053	22,185	24,586	25,495

エ 担い手の確保・育成

- 「介護予防サポーター」
  - 「認知症サポーター」※再掲
  - 「生活支援コーディネーター」
- ⇒総じてほぼ計画どおりに進められましたが、「生活支援コーディネーター数」は見込みを大幅に下回りました。

区分			第6期		第7期	
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
介護予防サポーター						
累計登録数	人	見込み	850	1,150	1,250	1,350
		実績	1,085	1,166	1,221	1,249
認知症サポーター(再掲)						
累計登録数	人	見込み	18,000	20,500	21,500	22,500
		実績	20,053	22,185	24,586	25,495
生活支援体制整備						
生活支援コーディネーター数	人	見込み	-	30	30	30
		実績	6	12	12	12

- ◎その他に、
- 「訪問型サービスA従事者養成研修」
  - 「介護に関する入門的研修」を新たに開催。
    - ✓総合事業の充実に向けた人材育成
    - ✓介護分野への参入のきっかけづくり
    - ✓多様な担い手の参入を促進

			平成30年度	令和元年度	令和2年度
訪問型サービスA従事者養成研修					
修了者数	人/年	実績	74	56	0
介護に関する入門的研修					
修了者数	人/年	実績	-	-	49

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

1) 【課題1】包括的なケア体制づくり

※第8期まえばしスマイルプラン 40頁を参照

オ 健康づくりと介護予防の推進

- 健康教育・健康相談の実施回数・参加者数等は増加傾向  
⇒ハイリスク者の把握と高齢者自身の健康づくりへの意識が高まる。
- ピンシャン体操クラブ・介護予防活動ポイント制度等の拡充  
⇒高齢者の社会参加促進
- リハビリテーション等専門職員との連携事業を開始  
⇒地域での介護予防の取組のさらなる強化
- 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止策を講じたことにより、見込み数に達しない取組がありました。



【参考】介護予防に資する自主活動の場(団体数)

右表の他、老人福祉センター:65、老人クラブ:128、生涯学習:293

区 分			第6期		第7期	
			平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
介護予防把握事業						
基本チェックリスト発行数	件/年	見込み実績	-	146,000	146,000	146,000
			145,700	146,650	147,900	148,400
ピンシャン元気体操教室						
延べ参加者数	人/年	見込み実績	70,000	98,000	98,000	98,000
			66,657	66,479	62,046	26,188
高齢者健康教育						
実施回数	回/年	見込み実績	300	350	350	350
			369	274	326	156
延べ利用者数	人/年	見込み実績	7,000	8,000	8,000	8,000
			8,347	6,975	7,411	2,076
市主催健康教室						
実施コース	コース	見込み実績	-	17	17	17
			14	19	23	10
実施回数	回/年	見込み実績	-	52	52	52
			32	57	86	31
参加者数	人/年	見込み実績	-	1,000	1,000	1,000
			635	1,000	1,906	456
高齢者健康相談						
参加者数	人/年	見込み実績	40,000	53,000	53,000	53,000
			52,184	52,001	66,022	5,534
自主グループ						
自主グループ数	団体	見込み実績	185	240	245	250
			206	202	212	192
ピンシャン体操クラブ						
登録団体数	団体	見込み実績	-	70	80	90
			59	60	68	66
延べ参加者数(65歳以上)	人/年	見込み実績	-	31,500	36,000	40,500
			33,747	33,705	34,294	8,434
はつらつカフェ						
開設数	か所	見込み実績	-	25	30	30
			24	25	26	26
介護予防活動ポイント制度						
登録実人数	人	見込み実績	1,050	1,250	1,350	1,450
			1,087	1,206	1,296	1,177
地域リハビリテーション活動支援事業						
対象者数	人/年	見込み実績	-	2,200	2,400	2,600
			-	1,037	1,000	360
地域リハ職等人数	人	見込み実績	-	96	100	104
			-	114	127	46

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

2) 【課題2】地域における施設・住まいの最適化

※第8期まえばしスマイルプラン 42頁を参照

介護保険施設(介護老人福祉施設、介護老人保健施設)や高齢者向け住まい(住宅型有料老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅)の整備が充足しつつある中、「既存施設の転換や増床を優先した介護保険施設の整備」と、「多様なニーズに対応できる地域密着型サービスの整備」を計画的に進めました。

ア 既存施設等の転換・増床を優先した介護保険施設の整備

おおむね計画どおり整備することができました。

第7期計画の目標と実績

施設(サービス)区分			平成30年度		令和元年度		令和2年度		合計	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)	広域型	施設数	増床・転換	転換	0	0	0	転換・新設1 ※1	増床・転換	転換・新設1
		定員数	50	10	0	0	0	79 ※1	50	89
	地域密着型	施設数	1	0	0	1	0	0	1	1
		定員数	29	0	0	25	0	0	29	25
	合計	施設数	1	0	0	1	0	1	1	2
		定員数	79	10	0	25	0	79	79	114
介護老人保健施設		施設数	増床	増床	0	0	0	0	増床	増床
		定員数	10	10	0	0	0	0	10	10
介護医療院		施設数	0	0	2	1	0	0	2	1
		定員数	0	0	13	26 ※2	0	0	13	26
特定施設入居者生活介護 (介護付き有料老人ホーム)		事業所数	1	0	0	0	0	1	1	1
		定員数	80	0	0	0	0	80	80	80

※1)うち定員70人分は第6期計画分 ※2)医療療養病床からの転換分(定員:18人)を含んだ数値

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

2) 【課題2】地域における施設・住まいの最適化

※第8期まえばしスマイルプラン 42頁を参照

ア 既存施設等の転換・増床を優先した整備

I 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)

- ・(広域型)目標50人分に対して、転換で19人分、新設で1施設70人分の整備を行いました。
- ・(地域密着型)目標29人分に対して、新設で1施設25人分の整備を行いました。

施設種別	単位	第6期末 (H29年度末)	第7期(H30～R2)						第7期末 (R2年度末)
		実績	H30		R1		R2		実績
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	
広域型	施設	29	増床・転換	転換	—	—	—	転換・新設1※	30
	定員	1,715	50	10	—	—	—	79	1,804
地域密着型	施設	7	1	0	—	1	—	0	8
	定員	130	29	0	—	25	—	0	155

注)別指定となっているユニット型施設分(広域:3施設、地域密着:7施設)を含んでいる。 ※新設1施設は第6期計画分

II 介護老人保健施設

- ・目標10人分に対して、計画どおり増床で10人分の整備を行いました。

単位	第6期末 (H29年度末)	第7期(H30～R2)						第7期末 (R2年度末)
	実績	H30		R1		R2		実績
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	
施設	14	増床	増床	—	—	—	—	14
定員	1,034	10	10	—	—	—	—	1,044

注)別指定となっているユニット型施設分(2施設)を含んでいる。

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

2) 【課題2】地域における施設・住まいの最適化

※第8期まえばしスマイルプラン 42頁を参照

ア 既存施設等の転換・増床を優先した整備

Ⅲ 介護医療院

- ・廃止となる介護療養型医療施設からの転換13人分の目標に対して、医療療養病床からの転換も加わり、結果として1施設合計26人分の転換となりました。

単位	第6期末 (H29年度末)	第7期(H30～R2)						第7期末 (R2年度末)
		H30		R1		R2		
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	実績
施設	0	—	0	2	1	—	0	1
定員	0	—	0	13	26	—	0	26

Ⅳ 介護付有料老人ホーム(特定施設入居者生活介護)

- ・目標80人分に対して、新設で1施設80人分の整備を行いました。
- ・増加傾向にある高齢者向け住まいについて、第8期計画中の特定施設入居者生活介護への転換に向け、事業者アンケート実施しました。

単位	第6期末 (H29年度末)	第7期(H30～R2)						第7期末 (R2年度末)
		H30		R1		R2		
	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	実績
施設	10	1	0	—	—	—	1	11
定員	600	80	0	—	—	—	80	680



(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

2) 【課題2】地域における施設・住まいの最適化

※第8期まえばしスマイルプラン 42頁を参照

イ 地域密着型サービスの整備

計画どおりに整備を進めましたが、小規模多機能型居宅介護の事業所がない市東部(城南・大胡・宮城・粕川圏域)への整備が今後の課題となりました。

I 第7期計画の目標と実績

施設(サービス)区分		平成30年度		令和元年度		令和2年度		合計	
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	事業所数	1	1	2	1	0	0	3	2
	定員数	9	18	27	18	0	0	36	36
小規模多機能型居宅介護	事業所数	1	1	1	0	0	0	2	1
	登録定員数	29	29	29	0	0	0	58	29
看護小規模多機能型居宅介護	事業所数	0	0	1	0	0	1 ※1	1	1
	登録定員数	0	0	29	0	0	29 ※1	29	29
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	事業所数	1	0	0	2 ※2	0	0	1	2

※1)計画外 ※2)うち1事業所は計画外

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

2) 【課題2】地域における施設・住まいの最適化

※第8期まえばしスマイルプラン 42頁を参照

イ 地域密着型サービスの整備

II 日常生活圏域別の整備状況

日常生活圏域	H29年度末実績(第6期末)					第7期(H30～R2)整備実績						廃止(第7期中)				R2年度末実績(第7期末)						
	GH		小多機		定期巡回	H30		R1		R2		GH		小多機		GH		小多機		看多機		定期巡回
	施設	定員	施設	定員	施設	目標	実績	目標	実績	目標	実績	施設	定員	施設	定員	施設	定員	施設	定員	施設	定員	施設
1 北部・中央	3	27	1	29	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27	1	29	0	0	0
2 若宮・城東・中川	2	27	2	58	0	-	-	-	-	看※2	-	-	△ 1	△ 29	2	27	1	29	1	29	0	0
3 文京・南部	3	27	2	58	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	27	2	58	0	0	0	0
4 上川淵・下川淵	6	63	2	58	0	-	-	-	巡※1	-	-	-	-	-	6	63	2	58	0	0	0	1
5 芳賀	1	9	0	0	0	グ・多	グ・多	-	-	-	-	-	-	-	2	27	1	29	0	0	0	0
6 桂萱	2	36	2	54	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	36	2	54	0	0	0	0
7 東	3	27	3	83	0	-	-	グ	グ	-	-	-	-	-	4	45	3	83	0	0	0	0
8 元総社・総社・清里	3	72	2	47	1	巡	看	-	巡	-	-	-	-	-	3	72	2	47	0	0	2	2
9 南橋	6	72	2	54	0	-	-	-	-	-	-	△ 1	△ 9	-	-	5	63	2	54	0	0	0
10 永明	2	36	1	25	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	36	1	25	0	0	0	0
11 城南	2	18	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	0	0	0	0	0	0
12 大胡	1	9	0	0	0	-	-	グ	-	-	-	-	-	-	1	9	0	0	0	0	0	0
13 宮城	1	9	0	0	0	-	-	多	-	-	-	-	-	-	1	9	0	0	0	0	0	0
14 粕川	1	9	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9	0	0	0	0	0	0
15 富士見	2	18	1	29	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18	1	29	0	0	0	0
合計	38	459	18	495	1	-	-	-	-	-	-	△ 1	△ 9	△ 1	△ 29	39	486	18	495	1	29	3

※グ: 認知症対応型共同生活介護(GH、グループホーム)

多: 小規模多機能型居宅介護(小多機)

看: 看護小規模多機能型居宅介護(看多機)

巡: 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(定期巡回)

※1) 計画外 ※2) 公募外

(2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

② 第7期課題への取組と評価

3) 【課題3】ケアマネジメントの質の向上と給付適正化 ※第8期まえばしスマイルプラン 43頁を参照

ア ケアマネジメントの質の向上

- 介護支援専門員を対象とした「介護支援専門員全体研修会」「ケアマネジャー情報交換会」を1年に合計3回開催したほか、各圏域の地域包括支援センターにおいて研修会等を実施。
  - ✓介護支援専門員のスキルアップと意識向上
- 「自立支援型地域ケア個別会議」を立上げ
  - ✓介護支援専門員が多職種からの専門的な助言を得ながら情報交換できる体制が整えられた。
  - ✓「医療と介護の連携会議(ブロック会議)」を活用し、多職種間の顔の見える関係づくり、地域の専門職と自立支援についての考え方の共有を進めた。



イ 給付の適正化

- 主要5事業を柱として設定した目標をおおむね達成できた。
- 効果的かつ効率的に実施できる「介護給付適正化総合支援パッケージシステム」の導入。
- 事業者と適正化事業の目的を共有するための説明会を開催。

給付の適正化主要5事業

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度
要介護認定の適正化	目標	研修実施	研修実施	研修実施
	実績	調査員:2回 審査会委員:2回	調査員:2回 審査会委員:2回	調査員:1回 審査会委員:1回
ケアプランの点検	目標	64件/年	64件/年	64件/年
	実績	64件/年	279件/年	73件/年
住宅改修等の点検	目標	通年実施	通年実施	通年実施
	実績	通年実施	通年実施	通年実施
医療情報との突合・縦覧点検	目標	全件、毎月確認	全件、毎月確認	全件、毎月確認
	実績	医療情報突合:全件3回 縦覧点検:全件毎月	医療情報突合:全件3回 縦覧点検:全件毎月	医療情報突合:全件3回 縦覧点検:全件毎月
介護給付費通知の送付	目標	3回/年	3回/年	3回/年
	実績	3回/年	3回/年	3回/年
給付実績の活用	目標	数回実施	数回実施	数回実施
	実績	1回実施	3回実施	2回実施

## (2) 第7期まえばしスマイルプランの総括について

### ② 第7期課題への取組と評価

#### 4) まとめ

##### 包括的なケア体制づくり

- 多くの事業が見込みどおりに進められたが、見込みに届かない事業もあった。一方で、在宅医療・介護連携や介護予防等で、一定の効果が出了と評価できたものもあった。
- 効果を意識した目標を再設定した上で、地域における連携強化、自立支援・介護予防・健康づくりの推進、生活支援体制の構築等を目指し、地域包括ケア体制づくりを一層進めることが重要。

##### 地域における施設・住まいの最適化

- 今後も利用者のニーズや生活圏域別の整備状況、有老等の設置状況等を把握した上で、介護保険施設や地域密着型サービスの計画的な整備を続ける。
- 持続可能な介護サービスを行うためには、幅広い分野での人材確保及び育成を国・県と連携して進める。

##### ケアマネジメントの質の向上と給付適正化

- 自立支援に資するケアマネジメントの考え方や必要性について、介護支援専門員の理解は深まった。今後も基幹型地域包括支援センターがリーダーシップを発揮し、ケアマネジメントの質の向上を図る。
- システム導入により、ケアプラン点検の対象拡大や多角的な給付実績の活用が可能となった。適正化事業を効果的に進めるため、市の特徴等の分析結果を踏まえつつ、システムの有効活用を図る。